

不妊専門相談センターの取組事例集

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課

当事例集は、各地方公共団体の取組事例を整理し、情報提供することにより改善を促進

1. 栃木県不妊専門相談センター（パルティ とちぎ男女共同参画センター内）
2. 石川県不妊専門相談センター（石川県医師会・日赤共同ビル内）
3. 岡山県不妊専門相談センター（岡山大学病院内）
4. 大分県不妊専門相談センター hopeful（大分大学医学部付属病院内）
5. 札幌市不妊専門相談センター（札幌市保健所内）

栃木県不妊専門相談センター (パルティ とちぎ男女共同参画センター内)

- 電話相談 火曜日～土曜日 10時～16時
- 面接相談(予約制)
 - ・助産師による相談
 - ・産婦人科医師による相談 第4木曜日 14時～16時
 - ・泌尿器科医師による男性不妊の相談(不定期)
- メール相談
- ホームページに活動報告等についても掲載



特徴

- 不妊・流産に悩む方のグループ相談会の開催
 - ・同じ悩みを持った人に“会いたい”“聞きたい”“話したい”という方たちの集まり。
 - ・相談員が進行役になり、参加者のフリートークを中心に、話せる場、情報交換の場としている。
- 相談者が利用しやすいよう、土曜日も相談可能としている。

周知及び関係機関との連携状況

- センターで発行した小冊子やリーフレットを、センター以外にも、県の健康福祉センター・市町村保健センター・県内の産婦人科窓口に設置している。
- 当事者団体であるNPO法人fine・フィンレイジの会・NPO法人不育症友の会について、ホームページのリンク集に貼り付けている。

石川県不妊専門相談センター (石川県医師会・日赤共同ビル内)

- 電話相談
 - ・月曜日～土曜日 9時30分～12時30分
 - ・うち、火曜日については18時～21時も実施
- 面接相談 助産師による相談 予約制
- メール相談



特徴

- 相談者が利用しやすいよう、土曜日や夜間についても相談可能としている。
- 不妊カウンセラーの資格を持つ助産師による相談対応を行っている。
- 県内の産科や泌尿器科等における医療情報を踏まえた相談対応を行っている。

周知及び関係機関との連携状況

- 特定不妊治療医療費助成制度のリーフレットに相談センターの情報を掲載。医療費助成と併せた周知も行っている。
- 定期的に県母子保健担当者等との連絡会や勉強会を開催し、最新情報を入手している。

岡山県不妊専門相談センター (岡山大学病院内)

- 電話相談
・月・水・金 13時～17時 ・第1土曜日 10時～13時
- 面接相談
・月・水・金 13時～17時 ・第1土・日曜日 10時～13時
- メール相談
- 不妊・不育に関する本・資料・DVDの貸し出し(予約制)
(※相談日以外に火曜日 10時～15時 閲覧室を開放)



特徴

- 様々な専門家(産婦人科医・泌尿器科医・胚培養士・臨床心理士・不妊カウンセラー等)による、専門的なプログラム構成の講演会・相談会の実施
- 流死産を経験された不育症の方々の交流を目的とする茶話会「ママたま交流会」開催(会員制)
- 生殖医療を受ける方をサポートするため、「生殖医療サポーターの会OKAYAMA」を設立し、生殖医療に携わる医療スタッフによる、医学的・心理的・社会的問題等について、情報交換や問題点の考察に努めている。

周知及び関係機関との連携状況

- センターで発行したリーフレットや携帯カードを各保健所・市町村の母子保健担当窓口を設置するとともに、岡山県のホームページに掲載。
- 県の不妊治療助成のリーフレットにセンターの案内を掲載し、不妊治療指定医療機関等へ配布。

大分県不妊専門相談センターhopeful (大分大学医学部附属病院内)

○電話相談

- ・火曜日～土曜日 10時～16時
- ・留守対応の場合には、携帯電話による相談も実施

○面接相談

- ・助産師(不妊カウンセラー)による相談 予約制
- ・産婦人科医師による相談 金曜日 14時～ 完全予約制

○メール相談

○県内の各保健所において出張相談、出張研修会を開催



特徴

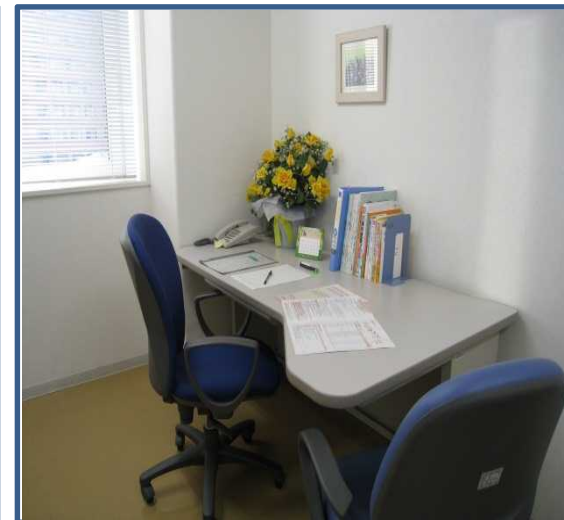
- 「おいで語ろう会」(治療中や治療を考えている人、二人目希望、不育や流産等の当事者や治療終結に至るご夫婦が気軽に参加し、おしゃべりをする会)を内容毎に開催
- センター長(大分大学医学部産科婦人科学教授・生殖医療指導医)による、専門職や一般の方々を対象とした講演会の開催(年1回)及び担当者や母子保健担当者との勉強会を開催

周知及び関係機関との連携状況

- 「おいで会」やセンターの活動情報を伝える会報を発行、関係者、行政機関に配布(年4回)
- 大分県発行のパンフレット「今伝えたい!いつかは子どもをと考えているあなたたちへ」に、監修(センター長)、作成検討委員(相談員)として協力
- 市報や県の広報誌にセンターの紹介記事を掲載、県の情報番組等でも取組を発信
- ホームページ(<http://www.med.oita-u.ac.jp/hopeful/index.html>)やブログで日々の情報を発信

札幌市不妊専門相談センター（札幌市保健所内）

- 一般相談（電話・面接） 月曜日～金曜日 8時45分～17時15分
- 専門相談（面接相談）
 - ・産婦人科医師による相談 第1・第3火曜日 14:30～
（予約制、1回の相談は40分程度）
 - ・不妊カウンセラーによる相談 第2・第4月曜日 14:00～
（予約制、1回の相談は40分程度）
 - ・不妊や不育症に関する相談に応じている。
- 不妊カウンセラーによる「講演会・交流会」の開催（年1～2回）



特徴

- 不妊カウンセラーによる講演会・交流会の開催
 - ・講演会のテーマを「不妊治療との付き合い方」とし、不妊治療を継続していくうえで生じる不安や悩みの対処方法について学び、不妊治療に関する不安の軽減を図ることを目的としている。
 - ・不妊に悩む方同士の交流により、悩みや思いを共有し、精神的負担の軽減を図っている。

周知及び関係機関との連携状況

- 講演会・交流会の開催案内は、特定不妊治療費助成事業指定医療機関のほか、市内の産婦人科医療機関に配布している。
- 当事者団体の1つであるNPO法人fineとは、当センターが実施する講演会に会員が参加したり、専門相談等において、必要時にfineの紹介を行う等の方法により連携を図っている。